

# 報 会 うでまくり

F J P  
福島県女性経営者プラザ

会社や組織は自分が変える！

## 半沢直樹くんに学ぶこと



福島県女性経営者プラザ

会 長 三 田 公 美 子

ここ二、三ヶ月、私は日曜の夜九時は自宅でテレビの前にいます。

そうです、ドラマ「半沢直樹」を見るからです。皆さんもきつとそうですよ。二〇二〇東京五輪の決定も嬉しかったけど、毎日曜半沢直樹君のおおらかでスカッとした活躍をみるたび、でろんとした閉塞感もどつかへ行き、やるぞ！やるとも!!といった気分になり、月曜を元気に迎えるのです。

バブルが崩壊し、リーマンショックに駄目押しされ、福島ではさらに、い

つ終止符が打たれるかもわからない原発被災：失われた十年とか二十年とかいって、民主党から自民党へと政局も大きく振られて、大企業や資産家だけは調子のいいアベノミクスに、ほぼ決定的な消費税増税：先も見えず希望もないうという日本のお茶の間に、突然鳴り響いた進軍マーチ。それが「半沢直樹」なんですよね。

バブルの時代銀行に入行し、団塊の世代に好き勝手をやられた後始末をやらされる半沢直樹の世代、なんだけど半沢直樹は「基本は性善説。でもやられたら倍返し」をモットーに、銀行員

### ◆ F J P の目的 ◆

- ① 女性経営者としての資質向上
- ② 次の女性たちのための風土づくり
- ③ 共同事業の開発
- ④ 地域・社会への貢献

の仕事とは何か、その本質をひたむきに追求する。よく言う組織の論理とか上司の圧力などに屈しない。

そんな言い訳を並べている暇があったら、一つでも多く解決の道を見つかる。組織がまちがっているのなら自分で組織を変える。

半沢直樹は決して机上の空論なんかでなく、現地現場を踏んで、こうすべきといふことをマジで貫く。いやあ、よだれが出るほどカッコいい。ほんの少し前に生まれたせいで、死んでも団塊の世代の悪口など言えない私は、そうだ、そうだ、半沢君の言う通り！とりゆう飲をさげています。

たとえドラマであつても、正しい奴が勝つのは気分がいい。ふと我に帰ってもまわりを見れば、半沢直樹のような人はいないけど、半沢直樹くんのようになってほしい、と、社員に具体的に言えるのはありがたい。(我がFJPの会員にも...)

### ● うでまくりとは

古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのがある。天気の良い朝にパラパラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない...という意味。FJP、女の腕まくりの真価はこれから！という意味も

## 活 動 報 告

平成24年度定例会

- 4・25 第18回定時総会・記念講演会  
(福島市 エルティ)  
『日本経済の現状と今後の経済政策のあり方』  
講師：日本銀行福島支店 支店長 野村 充氏
- 5・14 定例会(二本松市 花季)  
会員に聞く  
石橋昭子、伊東英子
- 6・11 移動定例会・講演会  
(会津若松市 桐屋権現亭)  
『八重と会津の歴史を学ぶ』  
講師：野口信一氏(歴史工房)  
定例会・講演会(郡山市 燦)  
『福島の女性経営者に 心から望む事』  
講師：福島銀行 代表取締役社長 森川英治氏
- 8・7 各委員会活動
- 9・10 定例会(茶寮おひり)  
会員に聞く  
上石美代子、安齋恵美子

# 私の思い

会員が日頃考えていることや仕事のこと、活動の様子などを「思い」として綴っていただきます。例会では見られない一面もありますので楽しみに。

## 「帰ってこいよ」

山田直美



あの忌まわしい震災から二年半、仙台やいわき、今では郡山もが着工

棟数が増える中、福島に「家」を求め人がいまだに多くありません。やはり放射線量です。一日も早く避難している方々が戻り、子どもたちの笑い声あふれる福島になって欲しい。そう願うばかりです。

## 「おかみさん」

福田澄子



私は、女性経営者というコトバより、「おかみさん」という言い方の方が、百倍も好きです。私自身は残念ながら、母ちゃんもおかみさんも余り

似合わないのですが、浅草の富永照子さんや草加の小見寺さんなど、まさに「おかみさん」そのもので「右手にそろばん、左手に人情」というふんい気がざっくり伝わって来ます。

ちよつと昔、郡山にも三万石のおかみさんという名物おかみさんがおりました。おかみさんの満面の笑顔に会いたくて、駅前に通ったものでした。

ビジネスとか経営というと、やたら固苦しくて、採算とか効率になるのだと思います。しよせん人と人の商いなんですからもう少しふんわりしたあたたかなものになるといいなあ。経営における女性の役割は、そのへんにあるのではないのでしょうか。



## 「十年目の決意」

小林志津子



今年、会社設立十年目にあたり、今までの事業を拡大。利用者も職員も、笑顔あふ

れるような、サービス付き高齢者住宅「スマイルハウスおひさま」、お泊りが出来る小規模デイサービス「福笑庵」をオープンいたしました。

構想段階で、自分が利用者だったらを考え、食事は手作り、各部屋に特色を出し、共同スペースは明るく、茶の間のような空間にし、利用者の閉じこもりをなくしています。

ちよつと足腰が弱くなったら、ヘルパーさんにもいろいろ手伝ってもらう。車椅子になっても安心な介護タクシー。週に一度の外出、デイサービス。一人暮らしが難しくなったら、サービス付き高齢者住宅。私の長年の夢、「一度関わったら、最期まで面倒が見たい」をやつと叶えることができました。これからも、当社のモットー「家族じゃないけど家族みたいなあつたかい介護」を常に心に置き、私なり

の介護道を歩んでいきたいと思っております。



## 震災復興と企業経営、荒天に準備する

会田和子



「企業は自らにとつての利益の追求が、自動的社会的責任の

遂行を意味するように経営しなければならぬ」——震災後ドラッカーの言葉が強く心に響くようになりました。利益を出すことは企業活動にとって目的ではなく条件であり、目標管理の重要指標としてきましたが、震災後堪らなく空しく感じられ、嫌悪感でした。そのため、舵取りに迷いが生じ、ドラッカーの本を読み返した次第です。

「組織はすべて人と社会をより良いものにするために存在する」「貢献以外のものは成果ではない」というフレーズに、あらためて当社の存在理由やセルフマネジメントを問い直しました。本当にやりたいことは何だったのか、本当の貢献とはなにか、社員に達成感の共有を強制していないか、自分も社員も真に幸せかなど、自らに「問う」日々。震災によって私自身の内なる世界が覚醒されたといえます。「テレコミュニケーションが地域を変える」を信じて挑戦してきましたが、正直、創業時の覚悟やわくわく感は減退していました。経営の衰退は内部要因(足元)にあると実感せざるを得ませんでした。そこで、中断していた早朝朝礼、社長宛日報メール、守破離塾(真似て学ぶ)、仲間を褒めあう賞賛カード、提案箱設置など、早速再開しました。これからの十年、二十年の再生にむけて、心を一つに前進すれば、未来が見えるという気持ちです。雇用創出とBCP(事業継続計画)の有効性からテレワークもようやく着目されるようになりました。強みを発揮して、企業成長・地域貢献シナリオを一枚一枚綴っていったら最高です。荒天に準備せよを肝に銘じて。

NY日系人会「JAA女性実業家の会」講演会に参加して

菊池 美保子



JAA女性実業家の会と、NY在住で様々な事業を営む女性事業主の皆さんがお互いの存在を確認し、刺激を与え合い、援助しながら、日々のビジネスに役立つ情報を交換するというNY日系人会所属の組織で、私たちFJJPと同じNYの女性経営者の会です。

その会のメンバーであるライター通信の記者で映画監督の我謝京子さんから「福島の実状をお話してみない?」と声を掛けられました。彼女は、『3.11 ここに生きる』という、被災地の女性を追ったドキュメンタリー映画の撮影で福島を何度も訪れています。私は、震災後の福島が海外の方々の目にどう映っているのかを確かめたいという思いもあり、思い切ってNYを訪れました。講演会では、福島の実状と被災地の女性経営者として何を考え、何をしたいのかについて話して欲しいとリクエスト

トされましたので、「今、福島に住む：放射能と向き合って」と題し、原発事故後の対応や放射能測定の結果、原簿、井戸水や果物の測定結果、福島の子どもの話やお母さん達の様子などについてお話しをさせていただきました。

会場には、前NY総領事としてご活躍された桜井ご夫妻や福島県人会の方々もいらして下さいました。NYの皆さんは、震災直後から支援に向けた寄付金募集をいち早く始められ、現在も続けて下さっています。

当日も募金箱が設置され、私が福島から持参した「こけしのメモ帳」と「積み木のお雛様」、避難所の皆さんがタオルで手作りした「まけないぞう」にもあたたかいご支援をいただきました。

NYでの追悼式典には、毎年たくさんの方々が参加されるそうで、遠く日本を離れているが故に、何かしなければという意識を強く持っているのだそうです。

若い皆さんは、「今回の震災で一瞬にして日本人のアイデンティティに目覚めた」と話してくれました。

海外の方々は、たくさん集まった善意をどうやって日本に届けるか、本当に必要としている人はどこにいるの

か、確実に善意を届けるにはどうすればいいのかとお困りでした。私は、せつかくのこのご縁を、福島の子どもの未来に繋がるようにしたいと考えています。そして、これからの震災の記憶が薄れないように、このご縁を大切に、たくさんの方々に、福島の「いま」を伝え続けて行きたいと思っています。



福島の実状をパワーポイントで説明



チャリティーで販売した商品にも支援の手が

# 会員に聞く

— 定例会より



五月十四日 場所：二本松花季

会員 石橋昭子、伊東英子

コーディネーター 三田公美子

石橋昭子さん、伊東英子さんのお話は、とても考えさせられました。伊東さんは私には想像もつかない程のお家柄でおっとりとした中にも強い意思を持っていらっしゃる方なんだと驚きました。石橋さんの恐るべき好奇心と行動力。そして何よりも旦那さまを信じ支え続ける石橋さんの体験をお聞きして、ただただ尊敬致しました。常にポジティブでいる事の大切さ、改めて自分を見つめ直すことが出来ました。有難うございました。(N・Y)



石橋さん(左)と、伊東さん(右)

九月十日 場所：茶寮おりおり

会員 上石美代子、安齋恵美子

コーディネーター 三田公美子

上石美代子さんは、先代から続く盤石の会社の後継者。安齋恵美子さんはご主人の「これからは携帯電話の時代になるのでは…」の言葉を信じ、今までの仕事を辞めての創業と、対照的な生き方ですが、共にそれぞれの立場で努力を重ね、今日の繁栄に……。 「FJJPに入って良かったことは」では、他の会員の話しを聞き学ぶ事が多い、本音で付き合えて心強い、とのこと。生き方、仕事は様々でも、その中心にいる生き方が大事と、三田コーディネーター。(E・I)



安齋さん(左)と、上石さん(右)

## 各委員長より一言

### ■ 総務委員会

委員長 安齋 恵美子

縁あって入会させていただいてから早八年目。三年目で総務の担当を仰せつかるも、経営者としても初心者マークだった私は、FJJPでも失敗、失礼の数々、落ち込んだことも数知れず…。しかし何とかここまで続けてこられたのも、諸先輩の広い心と迅速な対応で助けていただいたお陰です。そしてこの経験を通して女性経営者としてたくさんのことを学ばせて頂きました。ハンサムウーマンを地で行くカッコイイ女性経営者の集団。そんな「FJJP」を継続させていかなければと思う今日この頃です。

### ■ 事業委員会

委員長 佐藤 和江

三田会長始め、会員の皆様の知恵と人脈によって、大変有意義な事業活動を毎月行える事を心より御礼申し上げます。FJJP会員の高いモチベーション、持ち前の明るさとパワー、女性ならではのしなやかな感性によって計画以上に、楽しく、魅力溢れる内容になっ

ていると確信しております。

「忙しいけど参加して良かったわー」と帰り際に声をかけられることが何度かありました。そんな時は大変嬉しいですね。有難うございます。

事業委員長を無事に務めさせていただいているのは、皆様の力強いご協力のお陰です。感謝いたします。

また、今年度も下半期が残っております。女性経営者としての資質向上のため、頑張っていきたいと思います！

### ■ 交流・広報委員会

委員長 横山 りつ子

「女性経営者プラザ」の会員は、福田さんの記事のように、皆「おかみさん」として仕事に取り組んでいます。おかみさんがいるから温かいのです。

こんな話があります。人類が全滅に近い事故が起きたとすると、男性はほぼ全滅し女性が数人生き残る。はたして種の保存は出来るのか…出来る。残った女性の中に妊娠している人が居て、その子孫が次の世代を残す筈とか。女性は強い…さあ「朝雨女の腕まくり」意気込みだけではないFJJPの真価をみんなで見せましょう。福島県のおかみさんたち、入会お待ちしております。

### 南三陸、気仙沼にて！

高橋 恵美子



あの日から、変わって  
いない場所、  
土台と雑草、  
鉄骨だけの防

災センター、  
打ち上げられた船。昨年の盆休みに  
来た時と、一年経ったのに…。

少しずつ、活気が戻っているところ  
もありました。南三陸さんさん商店街  
の食べ歩きマップにて「きらきらうに  
井」をいただいできました。これから  
は「きらきら秋旨井」で、季節ごとに  
変わります。昼食なので、お酒を飲め  
ないのが、少し残念！

「ガレキの中から立ち上がった仲間  
たち、日々戻ってくる魚達と共に町に  
生きる」南三陸町飲食店組合――。  
気仙沼では、打ち上げられた船を見て  
きました。船の大きさに、ツナミの威  
力を改めて感じました。「第十八共徳  
丸」は、いわきの船です。九月九日か  
ら、解体作業が始まります。

泊まりの宿の露天風呂から静かな海  
を見てみると、地元の同年代の人と話

が出来ました。彼女は、家を失い、仮  
設に住み、時々、日帰り温泉でリフレッ  
シュするそうです。福島から来たと話  
すと、「だったら、私達より大変でしょ  
う！」と、優しい言葉が返って来て、  
何と返したらと言葉が詰まってしま  
いました。夜に「復興屋台村気仙沼横丁」  
で、お風呂の彼女とバツタリ！もち  
ろん時を忘れ、お酒を共にし、すつか  
り友人になつてしまいました。再開を  
約束して別れました。明日の笑顔に会  
える場所、屋台村――でした。

大きなことは出来ませんが、私なり  
に被災地に行つて、旨くて、なるべく  
高いものを食べて飲んで、沢山お土産  
を買っています。忘れないことも大事  
だと思えます。来年は、陸前高田から  
大船渡に行つて来ます。



鉄骨だけの南三陸町防災センター

### 身勝手な 生き残り主義の友人

菅野 喜久江



震災により  
東京に自主避  
難した友人に  
震災後初めて

会った。当の本人（六十六歳、福島で  
一人暮らし）は、放射能を気にはしてい  
なかつたが、娘と幼い孫のため、震災  
後すぐに赤坂プリンスホテルに避難  
し、その後東京都が勧めるリッチ（本  
人曰く）な三LDKの国家公務員宿舎  
の三十七階に移った。

その部屋からの眺めは、お台場一帯  
を見渡せ、朝は富士山、夜は日本一の  
夜景が美しく、交通費割引、雇用は優  
先的に決まり、保育所無料、たまにディ  
ズニールンドや歌舞伎のチケットも貰  
え、「言うことなし」と言う。

ここまでは私も、「ああ、そんなに  
不自由な生活じゃなくて良かった」と  
思つて聞いていたが、「たまに福島に  
帰つてくると二三日で喉がヒリヒ  
リ、声がかさがさになるの。だから福  
島産の野菜も果物も食べないわ。東京  
の避難者もそう言っているよ」と来た。

ここで私はキレたッ！

「貴女その勝ち誇つたデカイ声な  
ら誰でもガサガサ声になるよ」と言っ  
てやった。

自分の生き残りだけしか考えていな  
い君とは二度と会うまい…と、心に  
誓つた秋の宵でした。



### 後期活動計画

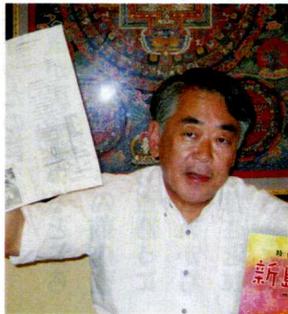
- 10・18 公開講演会「パネルディスカッション（郡山市民文化センター）  
講師：玄田有史氏
- 11・21 定例会 移動例会  
もう一度日光
- 12 定例会 各委員会活動
- H26年
- 1・16 定例会・新年会
- 1・17 （二本松市 陽日の郷あつま館）
- 2・18 定例会（本宮市 天狗&リバーサイド）
- 2・18 定例会「気ままにトーク」  
三田会長、菅野喜久江、手塚佳子
- 3・11 定例会（福島市 エルティ）  
まとめ例会

# ★定例会 Pickup★ 2013.4.1~9.30

## 18回定時総会 福島県女性経営者



2013.4.25 第18回定時総会記念講演会(福島市エルティ)  
講師 日銀支店長 野村充氏



2013.6.11 移動例会(会津若松市)「八重と会津の歴史を学ぶ」講師 野口信一氏



2013.6.11 移動例会後のティータイム(会津若松市)



2013.5.14 会員に聞く(二本松市岳 花季)



コーディネーター  
三田会長



2013.7.17 講演会 講師 福島銀行代表取締役社長 森川英治氏



中小企業団体  
中央会 黒江さん

が、なかなかお役に立てず申し訳けなく思っています。病で休会した折、退会を考え挨拶のために出席したところ、会長はじめ皆様から温かい励ましの言葉をかけていただき、すばらしい人間性に触れ感激と感動を受け、今に至っています。常にユニークで素晴らしい活動に元氣と英知をいただき、今後もまた楽しくご一緒に学びたいと思います。



影山 美智子  
入会して長いですが、みなさん、改めましてこんにちは！

ふたたび  
こんにちは!!



2013.9.10 会員に聞く(福島市 おりおり)

## 新入会員紹介

### ●山本欣子会員

昨年の七月に東北雇用支援を目的として郡山市に事業所を構えました。業務はデジタルコンテンツ制作です。現在、現地採用した八名の若い社員と共に目標に向け頑張っております。郡山に来て皆様の温かいお人柄に触れ、FJPに参加する楽しみを見つけました。今後とも宜しくお願い致します。

(株式会社 ピーズスタッフ)

### ●藤蔭静華(佐賀裕子)会員

なかなか例会に出席出来ず、皆様にご迷惑をおかけしています。

「頑張ります」と言いながら、仕事を代わられる人がいない上に時間の配分に四苦八苦しています。もう少し慣れれば例会にも出席出来るようになりますので、これからも、宜しく願います。

(藤蔭流三藤会 師範)

### ●編集後記

金木犀のノープルな香りに、空の高さ青さはすっかり秋。芸術・食欲の秋？成長期は過ぎたのだから蓄えしエネルギーは会員拡大へ！ (Y・T)